津波：公衆衛生と衛生状態

緊急事態の時には基本的な衛生を保つ行動を忘れないことが非常に重要です。常に、石鹸と煮沸または消毒した水で手を洗ってください。お湯の使用が望まれます。

手を洗う場合の例には以下が挙げられます：

- 食事の支度または食べる前
- トイレを使用した後
- 冠水後の清掃活動に参加した後、および
- 冠水時の水や下水で汚染されたものを扱った後

きれいな水が手に入らない場合は、手洗い用に製造されたアルコール系の製品を使うこともできます。手洗いに関するさらなるヒントは「災害後の手の衛生」で見ることができます。

冠水時の水には、下水からあふれた糞尿や農業・産業排水が含まれている可能性があります。冠水時の水に触ることは、それ自体が深刻な健康リスクを呈することはありませんが、冠水時の水で汚染されたものを食べたり飲んだりすると病気になる可能性があります。開いた切り傷口や擦り傷が冠水時の水に触れた場合は、石鹸でよく洗ってできるだけ清潔に保ち、感染しないようにします。傷口が赤くなったり、腫れたり、膿が出たりする場合には、すぐに手当てを受けてください。

さらに、親は子どもが水系感染の疾患にかからないよう注意する必要があります。子どもには冠水区域で遊ばせず、子どもの手を頻繁に洗い（食事の前は必ず）、消毒していない冠水した水で汚染されたおもちゃで遊ばせないでください。おもちゃは、5 ガロンの水に 1 カップの漂白剤を入れた溶液を使って消毒することができます。ぬいぐるみや赤ちゃんのおもちゃなど、おもちゃによっては消毒できないものがあります。それらのおもちゃは廃棄してください。

以下も参照のこと...

- **災害後の手の衛生**
  いつ手を洗うべきか、水を無駄に使わずに手を洗う方法...

- **ハリケーンや洪水の後：冠水後の清掃**
  冠水時の水には下水が含まれている可能性があるため、これらの手順を守って自分自身および家族を守ってください

- **衛生および下水**
  CDC の水害による緊急事態および勃発に関するウェブサイト

- **急性下痢の管理用ガイドライン（医療従事者向け）** （133 KB / 3 ページ）
  災害後の状況では、電気、きれいな水、衛生施設が限られる中で、急性下痢の発生が増加する場合があります...